

1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100

門へ13  
號3845  
卷7

夢想兵衛胡蝶物語後編卷之二

東都

曲亭馬琴戲編

煩惱鄉

道縁隨喜の乾牛堂法座の母より間延くもて。今聴起とて聽聞せよ。  
夫煩惱と人智度論小。そのひから頗べく。ありひややひの在名とそ。  
婦又属ア。瞋小傷イ。癡又属ろ。煩惱。その數八万四千ゆ。痛ノヘク非  
一切衆生ハ。八万四千の塵勞煩惱。遂ニ苦海小沈ミテハ。井戸へ墮セ。舊同根  
ゆづらん。これど淳む懶モ。世モこれと隣ミテ。その煩惱の根止セん  
とく。八万四千の法門を設て折伏対治ア。あれども三千世界。一度も手分  
まづりたりハ。煩惱御と漏まれ。この煩惱の根と漏み。般若波羅密  
小ちくハナ。その氣いふと易。小煩惱ハ入慈の四病。うり詰。やうす一

貪病とて貧る。ゆゑに煩惱あり。こそ第二みれ瞋病とて。腰のうらす。煩惱あり。才三ふれ癡病。くるまのが愚癡。ゆゑ煩惱あり。第四ふれ三毒病。惡り。とあるとが煩惱あり。般若波羅密湯とりて。くろ四病を除くべし。般若波羅密多太とりよへ。蠻女のキリ不具津女が。孕よどりひことへひし。波羅密多梵語。翻譯す。般若波羅密多到彼岸。され彼岸へ到るの義あり。一切衆生への岸。仏へすみんら彼岸へ。煩惱ハ中流へ。到こりふよ又六。あり。第一と檀。檀ハ少れつら施なり。第二とバ毗黎。檀ハ即時戒。五戒と持。第三ハ羼提。羼提ハ忍辱。方丈より堪忍。第四ハ尸羅。尸羅ハ少るから精進なり。第五ハ禪。といへ禪ハ少るから定なり。才六セ般若と云。般若ハ少るから智慧の。云。般若者を私せし。般若とりて導し。俱は有相の法を絶也。

世相の彼岸へ升るあり。ゆゑに波羅密多と說く。彼岸とりへ悟道の。と。有相と無く。無相と走り。其外へ到と。般若とある。佛。ゆげと。吾もが。これもうけと。煩惱は。煩惱がけと。菩薩も。菩薩も。れべ佛も。す。つまり如は。その一字。と。この悟道の極所なり。是へこそ観む。爰お兵衛ハ。食言御みく。爺二郎。野猪砲。ようちひ。がれ。せせだが通主。ば道隣でも。ひうごとお接のうひりきへ。こもくと立退く。煩惱。御へ隣をえつ。居るト。ひ隨みく。地の風景。人物の賢不肖。悉く歴覽る。定晦日村とりへ。一邑へ入るのへ。後へも。前へも。あわづ。に物前。巷路の兩側へ。おのく頑がすらと。既痛痒。巷大ふき。女夫井境の。ゆうごみ。去多巖の難外あり。手す。旅の夫婦。墳み。そふよ。そく。秋風。うち。子共道禪のらづく。空口。親のことをうねる原へ生檀那の。

物と打と匠と谷。わいと劍と洲の一騎うち。すどりみやろくら坂。淺黄浦  
布子へうけ。繩ひ通。口舌引田。とく長く。懲言ハ百。愚癡千。坪。嫁  
いぢう。谷娘子の生崎人の山入もひと繁く。悞田稻荷祭。赤の板。う。哈  
板。ふく。敲き出される馬鹿太鼓。身上仕事。とえさんと。めぐと。躍ふ  
てんてこ舞。とくの恒例。年中毎日の大混雜。とくみがり。大  
晦日。ふ異。うらど。只ありほの煩惱。とえねば。由折大歎。むかく。敗軍。  
俄頃。よ降て涌するごく。夫婦辟易。狼狽。うらう。僅み縁を索て。高利  
承知で借うて。實種。うづ松く。併れと。とけど。喰うぬ耳切。見帶。その利  
と非すも。枉うねて背門へ。急びひ買。箭。この世からうる。餓鬼骨の障  
子。ハ暗ぬ古席。薦。地獄もとへ。も供ふく。金と。もじて。獨と。けゆれ  
小僧ヶ持。せびの。大鼓。も撥のあく。と。やう。しのの。榮曜。又經此の皮を

むすせ。子共木が。オの皮剥。ば。鳴。辛。寒。ひ。さと。いと。泣子。と。泣。と  
及。歯齧。痛。る。食。く。が水。涼。千。ウ。とい。炭團。一。ツ。の玉。の床。と。る。下。フ。リ。と  
身の遍。う。と。と。名。つ。け。て。動。み。の。煩。惱。と。ひ。よ。う。べ。と。取。方。乃  
が。う。と。う。と。煩。惱。へ。一。刻。足。と。ぶ。の。利。と。え。ん。と。う。二。物。と。と。貸。過。と。三。日。二。階。閉。塾。と  
算盤。と。う。と。書。出。と。五。十。足。と。う。と。の。買。が。く。も。巻。紙。半。枚。費。と。と  
彼。首。へ。化。行。う。と。ひ。ひ。鉄。こ。め。な。た。へ。又。引。ま。う。て。來。ま。う。せ。と。横。平  
ら。く。二。三。度。も。あ。う。せ。て。机。す。持。ひ。重。で。ん。同。屋。が。塞。う。す。と。ほ。う。簡  
ち。と。口。説。ど。も。口。く。ど。モ。う。せ。ど。二。れ。こ。く。も。そ。ら。の。内。び。ど。の。物。と。す。も。安  
さ。と。お。汰。よ。ま。こ。う。の。へ。の。ひ。ぬ。つ。ま。う。の。亭。生。よ。う。い。う。あ。と。愛。想。る。く。障。子  
を。う。う。せ。ん。う。う。と。又。ある。物。と。書。出。と。何。十。枚。何。貫。文。へ。何。月。前。の。え。と。

と。ちるしてえんせとくも勘定よ。入戸じとそんかの同やかけど。今度のふぞ  
と拂ひすと。ちつとも如方へきけとども。さういふへひがと、うぬ。とくつも  
らふ不理屈へ利うござらぬり當分の足搔小足と取難義でも。さうとく  
うくも出されど。眞て損する身の破滅ぬとが同屋の居催促。うう一言  
も片づくねべ。翌かられ荷が送ふまぬ。愛あづしのきひやす小ぶ拶すや  
ま。とう行よ。痛と入る三年の舊痕。とうくのよがう。うへの駒。殊  
甲斐もなく。鐗と削る歎味方。人間萬事掌を。かくさみやなし。負債の  
財。三日漬と戸の常闇へ岩戸神樂も。まみ跡の祭りのだ。茶汲で生を。  
三里先うら伯父又叔母。ほほ。足駒連きく。膝とも詰合。五間正面と切縮め。二  
間の孫店外聞と。買入と。うぬ賣居と。書ふる土庫の腰巻も。落月と隣  
ひ人うなづか借て貯てゐる頬惱なり。狹らの定晦日村。物ろひの絶ざりへ。  
がさすう



盈々とて敵へ衝く。三里の城。七里の郭。こゝとせめぐつゝ攻ましも傍を。彼四方よ敵をうけて。各自勝てて死擲る。りのハ士卒のこころ一致して兵糧之一からねば。ちるるふらの土の風俗。家内の子孫これらふそ亭うちの軍配歎也。やうねば。又子夫婦又好婦ひ是く。軍飯ハ三度よそひつて。夕餐と二度食よりのもあり。活業よ解りて。碁将棋るんど。手を入まゝれのゆあ。看こらす。残ゆりても。西より粟の日あひ出だ。家よ三日の貯綠ありけり。疾病といふ大敵よ。あらは。十月首を擡ひねば。妻子子も涙と約あげらむ。落城されども援兵あり。子と賣妻と棄るあり。あれども子の解へ。あらうりもなべど。大都余よ住アビ。釋アムの間をやのとつ。才擧ひみ述懐。さみ有理とゆくゆゑ。泰平のとてよ生まめふ。才のすへ努力めび。堯舜の民とみて。築糾の暴虐よ達だ。

人追ふれども家と失ひ。不孝ある。妻と捨。不孝はとね子と賣る。と人间の恥辱。のみ人やある。かとバ煩惱。外より多くりのよあが。五惑愚癡。そ脣の火氣。ふ蒸りて。ぞふくと生く。胸膈の風。く貧富へ天乃配劑。ふあり。仁者ハ富ジ。富バ仁。うむ。止足の二字と。かくのへ食く。そ煩惱。利と温。ひひ。危。よ居。この方よ煩惱。譬。バ店よ百金の貨物あり。代小百金の貫。ある。その貨物ハアガリの。うら。よくハシ。おれ。向屋の負債。多。百金の古備。ある。百金の貫。とりて。二百金の負債を遣り。縛。人の燒鼻禪。じつ。相撲。も。そぞり。腰。じやう。て。起。九層の臺。も。土。う。と。と。地。彈。の基。八郎。が。組。立。する。七重九重の塔堂。九層の臺。も。土。う。と。と。地。彈。の基。八郎。が。組。立。する。七重九重の塔堂。地。弾。と。う。せ。ね。バ。頑。を。易。し。百。根。の。松。も。下。か。傷。生。す。そ。の。未。上。よ。搞。る。え。向。あ。い。松。樹。ど。も。根。か。傷。見。え。上。か。搞。堅。固。い。身。上。と。い。よ。り。の。へ。九。重。

の塔の地秋をうし。百段のねの根と張るふ。  
よかみ本淺から組立ても。  
すく膳んとく手と廣げて。問屋へ現限は沽市して。恰好りのでなげき  
ば受ど利て済して。揃擇と厚い。物みな廉く賣るやゑ。世よりの煩惱  
ほがかりあるる理よく免がこの國の習俗うれバ。ナシテ合せみつけて。  
一月あまう花せ小常待羅と飾ると多バ。脂深う布子ばかり。僅の間  
懶よだ衣と被とも多よ。鹿服一とて目よりも入間一生衣食住も。  
一月も缺きぬりのされば。づれ一生へ。至一程の家みへ戻され。直後のみを  
ぞ。こま經の衣裳へ被とりとつへでも。にじに二等も三等も引まげく  
どよ暮せば。衣食便は煩惱へなりよ。人間ひづく五十年の勘定を廉畧みて。  
うちとぬゆの横車。機へナラリ。房の言祭質とる夫婦。遺障。数ふも里と  
ぬ女子と歌りふ。擂撻とみよとして。近年の味稽をつけ。擂盆棚より眺ア山

志々。亭主の面と擗ひくる血で血と洗ひ泥龜の弊禍よあらず。圍裡乃  
神モ明く地へ出でへ。音不ぞうする瓦火よあらば。煩惱牡丹併ひとう  
茄く。近所合壁又面目と失へども。羞と羞とぢねば。神外より  
みみれ。硯箱の埃とをして。代筆やがら三行す荒神とゑハ魔む  
と。すゑの中央よ立在りへば。親分媒妁立あへて。さうなうと内せぬ  
吹の月へ瓶のをろきよる二つらふ。鼻謫唱にて唇てゆけまうば。俄頃よ  
不自由口寂く。小半合酒の資乏様へ縁の下へにこまれて。敗草鞋と  
う。物々交渉の董もつぶす。あくづれ生玉の汗。五月雨の煙袋  
打ふ。火へうちらぞとく。怒とうと瞋恚の大炎意の狗ハ糸と  
放されて。東西南北よまう焼す。ひの糠へ罪。放まで。縱横暴畢はれひを。

煩惱御こそ浅きけり。と爰お兵衛ハ云  
屈託ふぞあへぬ。想思草の姻つて向る。鼻の先てもあらひ。耳ふぞ  
かけぬ大混乱可憐口よ同ひしく。十五六町移住は、守る絶洲とぞ演あり。  
義城とぞ坂のへ。望絶洲よ住む人ハ德も才もあらずて人の疎よくそ。  
ふぞ。或ハ隣の室を數へく。寄りきぬ隨よとまざる。妄想胸よ浮ミ生。  
とちまきよも。十千万両の金を懸て。世の耳目を參るせんとあふと死へ。忽地十千万両の  
金めらかよなれ。西越でも小町でも。面と掩ひ上端婦を。數十人、左右よ  
果し。脂さうら肉屏よ。冬の寒さ忘まんとぞバ。たゞ硝子を  
逆さまよづせ。ぞだに義人あつやう。或ハ一國一城の主よすりて。綾羅錦  
繡と袖と。旨い力の食泡せんとぞバ。一國一城の如よばれ。文通  
武藝宇宙よ歎る。被面車の乗合せたりて。生るがから井よみん

と云ふべ。さて秋も仏事もすらうそと手絶洲の頗懶といふ。これ睡て  
見えし處へ。とぞううで手まく絶ビ。十両の身上へ百両よもうい手あ  
百両の身上へ千両よもふ手あ。男子をうり奉る家あ。女子やうが  
守あ。世事のうりよからん。女房とりつとれい。うそと美しく  
あそびよふやあ。す病で挿不亭主とりつばりと優しく  
あそびひふやあ。班文の笄一本かねと。三本の拂よ手あ。縞  
縮緬の桂がぬきと。額安坂の下龍表よ手あ。桃張の煙管がぬけ  
鼻紙袋ふ手あ。母屋の菖蒲水出朱豆バ。土庫の根接よ手あ。宗  
音の用帳へ日年よれバ。洞燈翁と寄進くと手あ。淡皮剥レ女児と  
りとべ。舅姑小男うりの力。祥毛で金力らで。女房と可使かる。聟よめのせん  
手あ。生うろのは、息子とりとべ支度へ勿論持余ちうへ。標致もく

古文真賞卷二

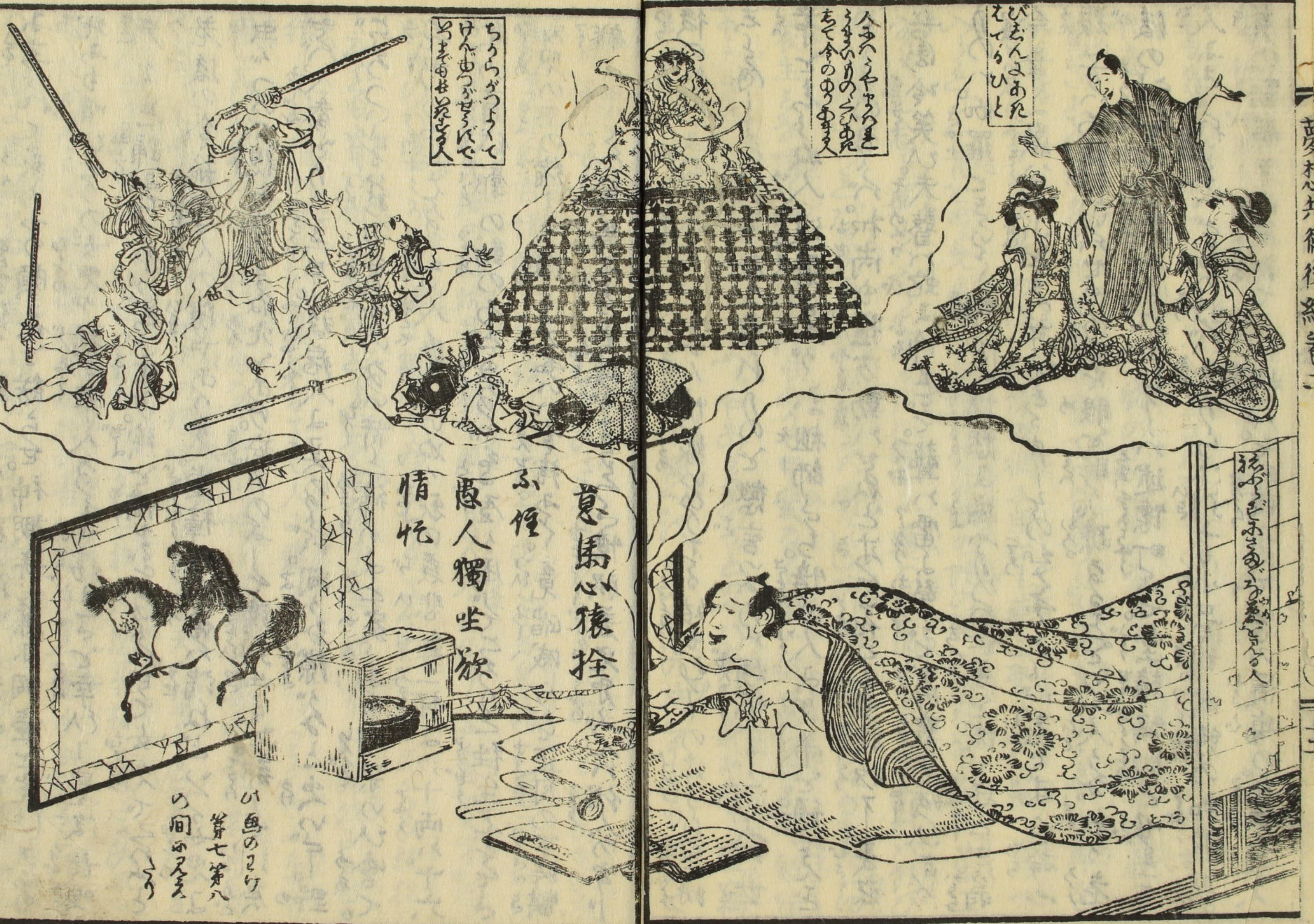
家と妖折る。孝行する子と力ちる人忠臣信友とかちる人物  
と泥をす慾する人博く学びて徳行ある人齡四十よりじて三紀の  
人生涯瑕なく古人よ恥ぢる人らの外みへゆく羨びきのうじよ情小  
引生じて慾と怨ふ。義一かく取りのと義もん所謂隣の懇意味噌。その  
身みへてへ好しからずぞれも賤をも憂ふたりのとある。あらねども  
憂へてはあり。憂へてはるるため。それが憂ふる所と云せの人欽が憂ふる所。己が  
うらふ不と云ふ世の人見と憂ふるべ。かゝのぞくみと煩惱ゆ  
りのあはれ。譬言べ四五月のば徽兩降つて出職のりのひよも  
ゑ。街道拵えむるの。口が乾あるとて罵とども此節り。旱  
それバ農夫へ直つけりらば。五穀登とざるをば。四海の人も口が乾ある  
べ。かれ巴が憂ふ。而へ故べさうのあづや。或ハ西のつゝ降る年也。

轎と昇り。馬と牽り。鳥かへ憂ふふ仰れども。嘗へ豊年の貢とぞ  
いふる。雪の憂うカの。冬田の肥るとぞ。天アマ小私アマツクシも。人ヒト  
情慾の私アマゆかる。天と恨むの煩惱絶を。とまぐ口アマりとぞ。説諭  
す。のみ遙上アマゆるおとれ。通アマす。あがふまづら。と戸外口へも  
立在せ。爰アマ兵アマ海アマハせんこみよ。霧アマぬ迷アマの雲アマをとけて。の  
すの巔アマて越え。川の下アマ小走アマ。流アマ水アマ影アマ。又アマどアマ  
ふや。色アマ國アマ人ヒト情屋アマ利口アマ。食言アマ御アマ。虛月アマ節アマ  
郎アマ。何アマも口張馬アマあれ。言榮アマ款アマ。うりしき。用ひら。とども強アマ  
有アマ。この地方アマ人ヒト。其アマも至アマ。牙アマ屈院アマ。又アマねが縁アマを  
裏アマ。生アマ度アマ。さればとぞ。つづくよ。とくさんや。孔子アマ司馬アマ桓アマ  
魋アマ。稀アマ。秋遊アマ。抱婆アマ達兜アマ。小懼アマ。難行苦行アマ道アマの爲アマ。

口に言ひてゐるのあつた。ついで一言を横口と志を励んで後を信と云つてば。  
夫婦ふやとおゆくと男ハ七十あまりふえ女ハ六十有餘りふぐよく見殺  
さる布子の襟小肥て遅れた風を吹せ膝の敗見と漏る綿もまじてがほん  
風情よてねよひとて骨立細身の杖二重の腰ふ一重帶。うつめく  
足力とあがみと互に扶け助ら且何ぞづくづくひきだつ浪打陰歩  
う。かうともふ小石を拾ひて鞆袂へ入玉づく。爰其兵衛と見く。  
口うれしのうなべき情ゆゑよ。身と投るみへよもあらじ年老て難く子ゆ  
ゑく飢渴よ遍り老夫婦。捨身するふ疑ひ。憐むぐれく。とひもあ  
ひ。背も遠く。さうが腰をうとす。卒余るがうのくじも小捨身すと生  
と見えず。されば本国よそなあくと黒くる長旅する爰其兵衛とゆ  
りのも。ともかくしてふうが玉の緒へ繋がざるやうねどとぞ。まづ縛の卦

と。朝向よもよしゆくつづくと信すふ聞とく呆き老夫婦。もととん顔を  
うし瞻。守日本人へ何ぞうふも。ゆだよだようりのぞく近雷の霖雨よ背門  
門口がぬき玉ども砂砾と布ふみ残ひ。本捨ひふゆく。さげぬう毎日  
すらすら。三十の小石を捨ひてりてゆ。背門足暗込よ。愚公が山をうせ  
どく。微塵積りそいつとある。両の障門下駄ひよじに坐もうよ。自在あれ  
が隣家の羅刹。櫻賣婆。みみ我とわて羨む。のまへ食主所て、  
布あする小石をば。翠玉の毛を切る人へ沽ひとこくとと隨よ老て大糞  
を木を捨へど。婆くと加勢ふけゆ。亦石と捨ひよ事たりのと。身を  
投うるをども。不身益千方百石もむち世活。朝よ生まく夕ふ死ゆると  
つ。蝶蟬でも余と惜むりのと。年老て貪るのとて。浮世よ。傍もぞ身を投へ  
る。世間よ。人種へ入ぬじ。生ゆるのれどひゆ。らひの豆べ頗る悩み。梅よ

鳴柵よ燕。みみをくの口稼ぎ。とまく後のよひちふらと喰みこゑふ  
みむり。鶴竿と鼻の先へ衝出されへせまふと氣とつぶや魚煩惱す。  
北恋へ挿杜康。秋又睡る。野猪のふづとひのうで。野馬が大玉の屁  
驚かして。捕夫の疾炮の遠音でへたりつゝ。嗟夫あがるや。と耳を  
側に。わのあゆみ春の棟へ。勝母の網。用心得。草又聚く。秋の虫へ。箭へ  
入る。と音をさだ。哥よとみのう。赤娃の。壇の腮と脇。め。痴の葉よ  
よじと念下。罷みへて。ゆる。飲ぬ酒。の碑。に。醉。寝。碑。ると死むる。一切  
衆生。三才。悟。ト。バ。イの説法。も。ゆて。甲斐。り。カ。一。彼。者。が。逃。出。で。懲。倍  
も。大。き。れ。口。の。婆。こ。そ。よ。や。ある。か。の。と。ツ。バ。点。ひ。煮。そ。れ。盜。竊  
きて。子。と。被。ふ。と。泣。の。み。ま。と。金。綱。く。れ。その。と。の。胸。立。た。る。被。ふ。て  
後の故。びよ。どひあく。が。ま。人情嫁。いひ。する。姑。も。む。ーの娘。くら。辛。附  
あ。と。身。と。う。ひ。ひ。う。款。よ。の。れ。り。の。と。戀。言。い。み。の。へ。煩。惱。す。と。ソ。ハ。せ  
事。と。も。う。ぬ。人。達。磨。さん。ぐ。く。お。祖。師。うち。悟。く。人。又。矛。帶。と。領。て。え。ど  
や。く。り。の。あ。と。べ。れ。尚。む。櫻。方。勤。ハ。せ。ぬ。と。す。で。花。と。も。う。挨。放。不。憂。愁  
岳。唐。冷。笑。ひ。夫。暫。ハ。蛇。又。怖。且。と。ぞ。聲。ハ。雷。又。教。も。と。鼻。竅。又。病。人。可。と  
り。ハ。伽。羅。と。ま。の。と。烟。と。情。愁。又。遂。の。の。仁。孝。と。誠。と。迂。と。ま。翁  
今。辛。よ。愚。公。が。山。と。う。せ。と。ち。る。や。ー。の。を。と。年。よ。と。老。く。木。を。捨。ふ  
銀。苦。の。い。と。り。せ。め。ゆ。と。眼。と。睡。り。疎。る。と。と。り。へ。人。う。な。孰。り。老  
後の計。を。る。べ。ざ。ん。これ。も。も。ー。の。述。懷。町。ふ。て。堂。樟。協助。と。ゆ。且。て  
人。ふ。ま。う。れ。ア。リ。い。ざ。ら。の。移。ベ。合。り。ら。へ。し。も。小。口。と。利。聞。諍。の。和。睦。助。ス  
先。の。勧。解。牙。の。皮。剥。で。人。と。敵。へ。ば。そ。の。徒。み。河。峯。の。置。場。の。山。林。の。さ



ふきられて。家々の頬花と飴らせ。神棚奇。壁下小祠壺を光し。天より  
地ふも唯ひとりの女児が顔を十人ほど。小猪もと幸ひよ。豊後長嶧  
声とも且。踊よちらから。あく下方。猪と情すとみよせて。女児でくふと  
老後の金箱。守人の隙やありえん。堂樟松の香へ消ねど。つる女児よ  
虫がつて。親もとみぬ穴とあけ。疵のふと誇引出とせ。鄙と引戻  
せば。人參とあく。疫病人よ呉りよ。間が隙ぐるとえひ。野の  
うろつゝる翁の名。子の名の背と締めよと家々の周囲りひ舍て。  
花街の中へたれ。多ひふうけぬが死の悲。年一杯よ六十両ハ。十六  
年の育代。郭の勤の立もなし。多産が困じてこうと往生元をと  
聖母の玉の緒。清よと金を残さく。竟暗滅らと正月の下絃。麒麟  
鱗も老て駕馬ふ劣て。燐がすらうる。懷胎差兄弟づんの世人の事。

り。子とゆきて奴見えよべ。今あざまふうつよるも。前する種の生ぬれ  
頸のあらぬ古情殘。ちそめいといへどり。どうる年浪の暴風。か  
がおううぬ老後の浮沈。昔の肩で風をさう。今へゆくふ息と見る。か  
ねりのへ婆くが名の腕よ難びくわるぞう。こそ朽くあるやうへ秋役  
とぞも寄へ屈む。商賣あらぶ。本後も。婆もひくへ龜役よ。ひく  
結へ糾箱へ。麻のむだりの見る。とく人よ縦じく綻一つ。とがく小糸を  
徹。手紙バ代洗濯の揃。子もみとれど。情とぬあよ。春の芽のあよ。春  
ちそめの日と送。かく凡夫の煩惱も。みみと天の氣ととこう。かん草  
うんどう附焼及で煩惱の根が切。ごとき秋。慈悲最根をもとめのふ。  
幸たかえどくへ天の佑。虫同様の吾們よ。ゆかく。猪ももろくらげや  
り。と歯よ莖被せぬ。蟬声よ。高く。うなり。老夫婦。秋とよぬうけ合ふ。

とて。あらぬ鷹鷹石本魚の少く。かど。お辭をさむせぬ述懐へよ。  
入せりのところ可笑。兵衛が声を激し。もし唐士さんより  
楚國。兵衛と肩と手賣りのあり。兵衛と買人との力のあれば。二の兵衛の  
強きと。鐵の肩も徹るといふ。又肩と買人とつげ。又肩とりて敵を防げ  
ば。莫耶が劍も徹す。がどり。人安てこまと達す。りもぬが兵衛となり。  
ちゆが肩と徹とあが。つふぞと聞くべをみだらうかにつまう。面  
と報くせりとうや。あられがちんえが述懐。兵衛と肩と賣ふ。人を救ふ  
れ何よまれ。まよあがねど。糸絞が惡を助けて忠臣うりとうふま。  
不孝不義の肉物を救ひんハ。救ひぬよきとある。骨肉の親を恩愛の情  
又子不孝の父であるも。その子不孝にて又の教よもぐれど己と  
とゆど骨肉の愛と捨てと追ふ。あが戀さん為すうとも。一々のあ  
宿ともひきこじと。一碗の飢ふも苦しませ。おのが家へ引人として。快く  
こよと養ひ。うつむいても。偏屈み。親又へ見えても。うれバとて。世間よ  
ひへ明る。ういふ。一休親の雪隠をうへ。景とひる人間へ何よつけとも。先ふ  
そろぬ弱いと。ぬよ道筋と。するも又身の一筋。と。その子みちからと。け  
る。あらぬ。贈る。弱よ油と沃ぎ。その慢と改んと。うらが。やまく。悪よふ。參  
みて。一年居食ひ。娘旦。親もよ損うけて。文房もよ往く。ある。う。の  
とれり。贈り。彼畜生へ恩をば。う。うの里へ足踏込ま。骨を推ぐ  
腸を冷んと見る人毎よ罵り。告て。煩惱の鹿奈と。深え胸の煙の絶間  
ゐた。う。うと。へ。了簡らび。その親もよ孝も。信も。みた。白徒  
の恩と助け。その恩恵よ。灣らんと。おふとも。う。で恩義と感じ。この  
有る義への。浦底と。救ひ。う。も。独りさるふ。至りて。遂よ。う。う。う。う。う。

うう。かる往と赦人と放りぬふやうとひよ。この道理と曉うら。良人より暇  
まで密夫と奔り。或も主の女児を抱生して。娘を埋るを引へて。まよ  
迫り。私良人ふ通り。ひづが強俠ふやうして。理なしと夫婦と。こよ  
るた吾根をさへとめふ。前より不孝殘忍の徒と助ふふこと。まよ  
めく。その恩義をあるとあらば。闕隙と預懸と踰夫と捨子と捨く。まよ  
覺つて。うの犯人とへきじき情へ賢不肖よりくばとも。文君が相如よ  
喜り。政子が武衛小奔見る死りて。世の奸夫淫婦ハ論。かに。さればま  
がんすが女兒よ糸牛の淫遊をみとめて。金残を費し。淫を賣せんと。身  
の利を謀へ。その子よ淫奔を教ふ。うとの豊曲郢声へ。不孝不義  
の媒妁とする。私と難ひへど。やへで。密夫と共よきるをいへ度も引戻し。罪を  
論じて。主と賣りし。陷阱と解り設て。是の子を墮す。加以。身價の多  
少。論じて。ト六年の養育代と稱する。不仁の至す。不慈の至す。人倫の上  
あらゆるまへ棄るの外。主と棄て顧ぶる。又私の慈悲のふ。子の不孝  
淫奔と幸よ。これと賣て利をそぞらぶ。その子の不孝と私の不慈と天秤よか  
く。見よ。えて怪重のうだ。いよくの聖王ハ民の罪をりて。主と己小殊。徳と脩む  
る。人ハ内急。刑罰年々ふ寛ふれども。その國治て恩民す。後の乱王ハあらず。  
身の慢とも民ふ辱。犯一諫るりのと報。刑罰を重く。それども。日ふ月ふ賊民  
起つて。その國じびざるわは。且君子懷て。主と改め小人懷て。主と修む。君  
子の子を遠づく何ぞや。勢ひ私見されば。こへ教を師の嚴うらさま。ひこへ。その子  
と捨る。そがるせある。理義よ明るるりの。すづ罪をもの主ふ間へ。その家の罪よ  
ざる。主の不徳。その子の不肖ある。又の不徳。人の賢不肖ハ天性よ

15  
16

17  
18

19  
20

21  
22

23  
24

25  
26

27  
28

29  
30

31  
32

33  
34

35  
36

37  
38

39  
40

41  
42

43  
44

45  
46

47  
48

49  
50

51  
52

53  
54

55  
56

57  
58

59  
60

61  
62

63  
64

65  
66

67  
68

69  
70

71  
72

73  
74

75  
76

77  
78

79  
80

81  
82

83  
84

85  
86

87  
88

89  
90

91  
92

93  
94

95  
96

97  
98

99  
100

101  
102

103  
104

105  
106

107  
108

109  
110

111  
112

113  
114

115  
116

117  
118

119  
120

121  
122

123  
124

125  
126

127  
128

129  
130

131  
132

133  
134

135  
136

137  
138

139  
140

141  
142

143  
144

145  
146

147  
148

149  
150

151  
152

153  
154

155  
156

157  
158

159  
160

161  
162

163  
164

165  
166

167  
168

169  
170

171  
172

173  
174

175  
176

177  
178

179  
180

181  
182

183  
184

185  
186

187  
188

189  
190

191  
192

193  
194

195  
196

197  
198

199  
200

201  
202

203  
204

205  
206

207  
208

209  
210

211  
212

213  
214

215  
216

217  
218

219  
220

221  
222

223  
224

225  
226

227  
228

229  
230

231  
232

233  
234

235  
236

237  
238

239  
240

241  
242

243  
244

245  
246

247  
248

249  
250

251  
252

253  
254

255  
256

257  
258

259  
260

261  
262

263  
264

265  
266

267  
268

269  
270

271  
272

273  
274

275  
276

277  
278

279  
280

281  
282

283  
284

285  
286

287  
288

289  
290

291  
292

293  
294

295  
296

297  
298

299  
300

301  
302

303  
304

305  
306

307  
308

309  
310

311  
312

313  
314

315  
316

317  
318

319  
320

321  
322

323  
324

325  
326

327  
328

329  
330

331  
332

333  
334

335  
336

337  
338

339  
340

341  
342

343  
344

345  
346

347  
348

349  
350

351  
352

353  
354

355  
356

357  
358

359  
360

361  
362

363  
364

365  
366

367  
368

369  
370

371  
372

373  
374

375  
376

377  
378

379  
380

381  
382

383  
384

385  
386

387  
388

389  
390

391  
392

393  
394

395  
396

397  
398

399  
400

401  
402

403  
404

405  
406

407  
408

409  
410

411  
412

413  
414

415  
416

417  
418

419  
420

421  
422

423  
424

425  
426

427  
428

429  
430

431  
432

433  
434

435  
436

437  
438

439  
440

441  
442

443  
444

445  
446

447  
448

449  
450

451  
452

453  
454

455  
456

457  
458

459  
460

461  
462

463  
464

465  
466

467  
468

469  
470

471  
472

473  
474

475  
476

477  
478

479  
480

481  
482

483  
484

485  
486

487  
488

489  
490

491  
492

493  
494

495  
496

497  
498

499  
500

501  
502

503  
504

505  
506

507  
508

509  
510

511  
512

513  
514

515  
516

517  
518

519  
520

521  
522

523  
524

525  
526

527  
528

529  
530

531  
532

533  
534

535  
536

537  
538

539  
540

541  
542

543  
544

545  
546

547  
548

549  
550

551  
552

553  
554

555  
556

557  
558

559  
560

561  
562

563  
564

565  
566

567  
568

569  
570

571  
572

573  
574

575  
576

577  
578

579  
580

581  
582

583  
584

585  
586

587  
588

589  
590

591  
592

593  
594

595  
596

597  
598

599  
600

601  
602

603  
604

605  
606

607  
608

609  
610

611  
612

613  
614

615  
616

617  
618

619  
620

621  
622

623  
624

625  
626

627  
628

629  
630

631  
632

633  
634

635  
636

637  
638

639  
640

641  
642

643  
644

645  
646

647  
648

649  
650

651  
652

653  
654

655  
656

657  
658

659  
660

661  
662

663  
664

665  
666

667  
668

669  
670

671  
672

673  
674

675  
676

677  
678

679  
680

681  
682

683  
684

685  
686

687  
688

689  
690

691  
692

693  
694

695  
696

697  
698

699  
700

701  
702

703  
704

705  
706

707  
708

709  
710

711  
712

713  
714

715  
716

717  
718

719  
720

721  
722

723  
724

725  
726

727  
728

729  
730

731  
732

733  
734

735  
736

737  
738

739  
740

741  
742

743  
744

745  
746

747  
748

749  
750

751  
752

753  
754

755  
756

757  
758

759  
760

761  
762

763  
764

765  
766

767  
768

769  
770

771  
772

773  
774

775  
776

777  
778

779  
780

781  
782

783  
784

785  
786

787  
788

789  
790

791  
792

793  
794

795  
796

797  
798

799  
800

801  
802

803  
804

805  
806

807  
808

809  
810

811  
812

813  
814

815  
816

817  
818

819  
820

821  
822

823  
824

825  
826

827  
828

829  
830

831  
832

833  
834

835  
836

837  
838

839  
840

841  
842

843  
844

845  
846

847  
848

849  
850

851  
852

853  
854

855  
856

857  
858

859  
860

861  
862

863  
864

865  
866

867  
868

869  
870

871  
872

873  
874

875  
876

877  
878

879  
880

881  
882

883  
884

885  
886

887  
888

889  
890

891  
892

893  
894

895  
896

897  
898

899  
900

901  
902

903  
904

905  
906

907  
908

909  
910

911  
912

913  
914

915  
916

917  
918

919  
920

921  
922

923  
924

925  
926

927  
928

929  
930

931  
932

933  
934

935  
936

937  
938

939  
940

941  
942

943  
944

945  
946

947  
948

949  
950

951  
952

953  
954

955  
956

957  
958

959  
960

961  
962

963  
964

965  
966

967  
968

969  
970

971  
972

973  
974

975  
976

977  
978

979  
980

981  
982

983  
984

985  
986

987  
988

989  
990

991  
992

993  
994

995  
996

997  
998

999  
1000

あらう。あれともひよの大人君子。その子ふるやうへある。ど不孝の子。寧  
まかとりそ教ふよるをあふべ。或年來俠氣をりそ人の不孝不義を助。  
己が子の不孝と硃文よ責て。情なくも賣るがどもん。辯と肩とを鬻す  
あらざや。罪あるがのば化の罪を告ぐ。懲ゆ。ものば化の懲を告る。所  
た告はれむ。身の臭悪ひよく臭い。力猛く。勢ひ剥るゝが人の人み  
剛勢。もそれさるがへあらば。あれども。一旦勢ひ竭。力窮。それへ亦これ  
と怖ろく。のほ。虎狼のひと猛をも。飢て勢ひ究る。それへ。猪夫よ生拘らる。  
既よその四足と縛られ。そな牙を缺く。されど。人辟立てこゑと見る。東  
方朔が言ふ。と用ひざれば。氣とある。といひえ。  
榮枯は失のゆうを曉す。不足より。との理をある。あれが。もく。身がども煩惱へ  
まかの子の不孝なるも。その恨を改んとつて。歎の為よそを勧解る。

煩惱の火と滅さんとすべ。ひまへ捨てたまふあらへ。伯禽ハ周ニ日乃  
かん子す。魯國と治しべく。城門のへば。周公もむへらう。これよ教て。  
利一毛利せざれと宣ひ。利して利せざと。民と利しておのが利を  
去る。とす。君子ハ人を利し。小人もかの毛と利し。己と利するがよ。人  
をもど。このゆゑよ煩惱。ひまへ。楚國もく。弓と遺セーめのゆ  
けり。あらとども毛と索ねば。ある人をあれと問ふ。れへと楚  
國の人す。楚國の人毛と捨りんよ。又何と。惜せんとす。孔子云  
と傳へて。が。楚國の楚の字と毛とづつ。可と宣す。つまう  
ハ。楚國の人。の遺へる弓と。楚國の人。毛捨れせんとも。りへば。ひま  
私と晚毛。人をも捨れんと。もとれ。はづよく。うそべと。かくして  
老子も毛と。て。人とり。字と。毛。ひまく。可と。りへば。よ

うろ。人ふ捨せんと。よと。れへ。毛私。のよ。似。う。捨へ。捨へ。惜ぞ  
と。づへ。と。づ。う。毛と。利して。利せざと。り。べ。人。おのく。か。毛と。だ  
愚。う。長。う。ふ。あ。び。へ。智。あ。ふ。と。り。づ。り。の。う。智。ある。せり。う  
私。せ。べ。ぬ。き。う。の。愚。な。れ。毛。あ。う。と。晋の。平。公。ハ。大。國。の。君。す。う。  
臣。祁。黄。羊。とい。づ。り。の。毛。宣。す。や。南。陽。とい。づ。色。よ。令。う。難。毛  
毛。任。毛。と。國。へ。毛。祁。黄。羊。答。て。解。孤。と。づ。り。の。毛。う  
ひ。や。と。説。り。め。と。毛。公。肩。根。うち。う。せ。く。解。孤。ハ。子。が。怨。あ。う。の。毛。う  
う。け。う。と。臣。が。怨。の。り。の。と。聞。ひ。う。う。の。う。と。と。毛  
公。詰。び。て。や。で。解。孤。と。用。ひ。う。ひ。と。か。く。て。亦。平。公。祁。黄。羊。毛。聞。ひ。う  
や。う。と。が。國。よ。尉。と。と。ぐ。き。の。う。誰。と。用。ひ。て。可。う。へ。と。同。毛。と。う。と。う。

ひきこもる



祁黃羊答て。午といひのと用ひりべ。ちくまべといひ。平云亦肩  
うらまゆ。午は子が見るにじや。と語りゆべ。祁黃羊答て。されば。  
こうく君臣が子のこと同せり。人ふかあべうべ。尉とすりわんみ。午はほ  
よるのへりたよ。とふ子ことて薦めよう。えどらんや。と回答へべ。平云  
ゆく飲びて。やがて是と用ひ。晉の國。う。治りぬ。魯國の先聖。され  
て。善哉。黄羊がりのと論。むる。外ハその讐をしむ。これを  
吹舉。内ハその子と避む。と。吹舉も。公のとつべと。す。譽  
ゆき。秦の丞相文信侯へ。かる人ふへ煩惱。富。人の富とて  
人。驕も。あり。とつとも。道を詔する人。入。ゆくら。勢ひの。人勢  
とて。人ふ驕も。あり。とつとも。私。れた人。へ。神。つと。隋侯の珠。へ。至宝  
こうく隋侯の珠。と。高。玉。梢。の雀。と。彈。ば。る。人。う。う。ば。笑。べ。

その笑ふ。所以。ハ。何。や。重。を。宝。とりて。怪。き。雀。と。彈。へ。る。人の事  
ある。性。命。う。重。ま。へ。う。もう。と。情。慾。の。爲。よ。煩。惱。絶。と。す。と。思  
ふ。病。煩。せ。天。年。と。う。う。ぬ。り。の。珠。とりて。雀。と。彈。が。正。この。情。慾。ハ。何  
力。の。ぞ。といひ。人生。と。て。慾。の。情。ゆ。こ。う。情。慾。ゆ。う。貪。ふ。と。好。も。  
貪。き。ど。よ。上。へ。ぶ。れ。が。の。煩。惱。と。う。せ。かる。有。聖。人。へ。礼。と。制。候。節  
と。脩。め。慾。と。止。め。て。そ。の。情。を。害。り。う。君。又。の。道。へ。仰。ぐ。高く。臣。子。の  
道。へ。俯。く。低。く。君。出。ま。バ。臣。跪。き。又。坐。せ。が。子。へ。立。す。禮儀。三百。威儀。三  
手。情。慾。と。正。し。の。準。繩。う。これ。ば。耳。の。声。と。口。の。き。を。も。り。し。口。の  
味。ひと。う。の。情。う。の。三。う。の。り。の。貴。を。も。賤。し。を。も。智。ふ。も。愚。ふ。す  
も。これ。と。お。エ。ヒ。ト。う。が。ほ。ど。の。聖。人。へ。の。情。を。失。ふ。と。そ。遷。ま。か。う。ひ  
凡。人。へ。の。情。を。失。ふ。あ。よ。通。ふ。う。み。ひ。ど。ら。と。か。く。う。う。味。ふ

嘆と乱ア。五声ハ耳を乱る。五味と五声のまひと耳と乱ス。みんア。人その情を失ヘフ。以ある。墨子ハ素を糸と見セズ。深くとと歎く。糸の素さへ天性なり。もんとも蒼生ふ。深くとれへ。糸と。糸を深くとれへ。黄なり。深くと五と。糸と見。竟五と。よ。度也。ア。足をりて推とれ。善よ。深くと。糸と。惡よ。深くと。心愚癡よ。深くと。人の煩惱。深く。智惠よ。深く。力。の。遂ハ。ど。の。有。堯ハ。四岳よ。深く。舜ハ。伯陽よ。深く。禹ハ。皋陶。伯益よ。深く。武王ハ。大公。周公旦よ。深く。亥神天皇ハ。武内宿禰よ。亲。仁德帝ハ。菟道郎子。王仁ホ。深く。推古ハ。厩戸。深く。天智。深く。兼足。深く。和漢の聖王ハ。の。深く。所。と。り。て。天下と。給。ひ。くる。亦夏の桀王ハ。羊辛。岐蹕戎。ふ。深く。纣王ハ。崇侯。惡。來。よ。深く。崇峻帝。馬子。よ。深く。稱德帝ハ。通寢。よ。深く。多。ひ。と。う。の。和漢の乱。王庸主ハ。の。深く。と。う。と。り。て。遂。よ。天下。と。喪。ひ。ぬ。ひ。な。與。よ。と。敗。す。と。没。よ。と。喪。不。し。ま。み。その。深。所。よ。あり。博。よ。と。ん。あ。ベ。く。と。ど。只。上。脅。と。下。脛。と。は。う。く。と。ば。生。と。る。ぐら。智。あ。る。人。ハ。学。び。ど。と。理。義。ふ。通。じ。理。義。ふ。明。る。る。多。よ。不。善。よ。様。ト。ど。ひ。ん。り。そ。愚。る。人。ハ。学。び。ど。と。理。義。ふ。通。せ。ま。り。ぎ。理。義。ふ。暗。さ。が。あ。よ。又。善。よ。う。よ。に。上。脅。ハ。股。若。下。愚。ハ。煩。惱。こ。う。せ。ま。現。物。の。弊。よ。と。い。ハ。怪。と。い。人。常。よ。大。廈。高。樓。ふ。居。よ。と。犯。ハ。の。亮。鬱。と。病。と。生。じ。古。物。の。敗。屋。闇。室。よ。あ。る。と。れ。ハ。の。精。弊。と。妖怪。を。有。情。慾。の。肺。肝。胸。膈。よ。弊。よ。と。犯。ハ。の。愚。癡。凝。て。煩。惱。と。る。煩。惱。ハ。是。惡。魔。なり。か。と。見。て。ゆ。る。と。怖。ぐ。べ。只。彼。大。人。君。子。ハ。妄。想。え。て。あ。る。と。み。ご。の。妄。想。る。犯。が。あ。よ。惡。魔。そ。の。際。で。珍。惱。と。る。あ。る。モ。凡。人。ハ。ち。つ。と。要。う。り。待。工。要。す。が。あ。よ。惡。魔。入。り。易。し。聖。人。ハ。あ。つ。エ。み。

待工スリて情を失ひざるのみ。譬言バ大海へ物と物とありけり。兩  
處も塵埃も。纖流も百川も。みなとまよぬもがほし。且これと容れて漏  
さと漏ざれども溢ざる。彼等一到、とよふう。亦賢人へやくこまよ  
異うる欲。その情と失ひとつじ。往とあり。往とつじ。もぐら求めば。  
よく煩惱と漏とがある。よ盈て溢き工事。譬言バ酒と飴と上戸といふ  
ものよ御す。容るゝ如分量ふうべりあれども。底よ穴あひて数百杓乃  
酒と容。よくこまを漏しこ。溢ざりの。凡人婦女子よ至りて。守  
絶洲。善坂の人びくやうと景くて情と失ふ工事うじ。譬言バ草の袋  
ふ。物を入まく。口を縫うがど。物をとすを入まく。出まく。漏さば。盈て溢  
ゆゑよ。煩惱とる。煩惱へ人慾の難病。奸悪を有て立地よ首と腰  
の。煩惱の劇病。良医神薬ありとつとも。竟は殺ひがれの症。一朝  
の怒り。よその刃を恨み。煩惱の癲痴。且三減の警と博シ。して人を罵  
ハ。煩惱の讒言。き情ふ意互に路歧よ死人とちよへ煩惱の大惑なり。  
やもよ俗人へ男女の恋憐。して餘るを顧ふと。の不せるとも。必ずするとも  
り。止足のうち。紙もじと甚く貪り。終は禍と釀す。煩惱乃  
脾腎虚。成る夫湯をり。病へまなむ。うり。生ふ。養生も  
止ど。慾とりて煩惱と止んとする。とれへ煩惱す。止せ。ごろふう。と  
医者へ茶角。とりて病と逐ひ除く。りの。なよい。の。人ことを。贱視と  
あそひ。身を。療治へまわす。娘生へ本。人その本を舍て。只その末  
と求む。神医ありとども。妖お多く。仙丹ありとつじ。病人多き。人々  
その娘生と好ざれば。もん身もあ。その本ようりて。七十年の非をあ。

夢枕先生集解卷之二  
煩惱の雲忽ち霧て。真如の月よ道を照され。被峯へ到り。と口の酸く  
あるほど説示せば。道樟惱み文少して。さてもく坐らしき達氣うな。某  
じ。博物の客よ喰ふことあり。聖人の世を憂ふこと尤甚し。堯の形貌へ  
腊の。睛へ乾肉とて。ひりの。唇の。舜の形貌へ脜の。脜とへ乾る。某  
維。又鶴の燒鳥の類あり。禹へ手足よ豚脜絶ぞ。面目とぐて斂物を。  
孔子の形貌へ累々とて。家と喪ふ狗の。夫聖人の世を憂ひて。かく迄  
憔悴り。と死へ。凡人の情慾よ戻る。凡人の情慾よ異なるとする。聖  
人よ又煩惱ありとりべ。亦博物のゆゑへ。もし。魯の國の賢人よ。  
公明儀といへ人ゆ。ある日牛よ射ひて琴と彈き。清角の操。ひとが修  
く。孫持せども。牛へこそと喫ぬを。雪花菜と食ひて。又へらを。  
稱ふゆる。今客人の説とこう。謂ふうしく。又耳よ合ひ。と。一公  
明儀が牛よむうへて。清角の操。と。と。如。されば大声の里耳よ入  
ど。と。大。大声ハ。の。の。の。樂。里耳ハ。里俗の耳なり。大声の乐のめぐ  
見る。里俗の為。ふ奏。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
彈。も。蓋。り。詩人よ遇。詩を。献。も。先達。こ。ひ。し。孔子の馬放。と。と。  
稻。と。食。農夫。も。後。立。そ。の。馬。と。捕。て。う。と。と。と。と。と。と。と。  
子貢。と。遣。そ。の。馬。と。り。と。め。子貢。へ。礼儀。と。厚。し。利害。と。説。て。  
喻。せ。ざ。る。その。人。と。と。聽。び。と。つ。よ。と。送。と。充。き。う。ら。う。あ。う。ば。ざ。ん。が。  
生。ぬ。り。て。との。説。を。さ。く。世。う。べ。孔子。亦。馬。飼。を。つ。く。と。そ。の。馬。と。求。先。

さううべ。馬飼只一言をすくへて忽だ農夫よ承知させ。馬と牽きを  
まじエスや。三子貢が説とこう拙しく。馬飼が説とこう理のうみ  
あらば。只その意よあふと含まるのを。さればこそ小兒へ童子と友とし。老  
翁へ老婆と友とし。智者へ賢人と友とし。愚人へ不肖者と友とし。酒客  
へ解翁と友とし。下戸へ茶家と友とし。倍客へ蒙昧と友とし。不善者  
へ悪人と友とし。同氣相求め同病へ相憐ひ又怪ひ足らず人ものく  
好ひ而あれば又ものくゆる所ゆ。故にと接て目前の理論を。博  
士がりて瞽家と威とへ。口とあん身ふねびと。俠者と交う。酒客を  
飲せ向叉と棄ひて闇諭を推進むる。あん身はれよ及びど。これあん  
身が才の口と下り經く。又智のあん身は長よりみへあらば。あん身が辨  
論と好む。意の弱の才を所あり。口が悞と改めざるゆ。への様の

りと所あり。あん身が放せ一馬へ口とこれと求めがに。口が狂はる  
猿へ。あん身とと瘞めぬざると。子貢と馬飼の如一。かれがあん身何等  
詮。されば又何う耳心とぞきづする所の間費ととつりのと。あらうと云ふれ  
さの対答と去。とひりけと弓と一腰と伸し。えぐりもせど生く。且ば  
あたか兵衛へ手よりつりのと。鳥小捉と。一輪。口張りと。七軒  
へ稀なふが如とつて。愚退てこ見と念ふよ。この論の事と云ふれ所

○總評

のふくの人のつるぎあ。人生とく善よとむりのべゆく。愚よ進  
カのへ景す。これを物よ取ひとべ。地上よ一盤の水と覆よ仰う。そのう  
のうすと左よ右よ。右よ左よ。五年の形をとどく。とも圓くある  
へ稀なふが如とつて。愚退てこ見と念ふよ。この論の事と云ふれ所

ある。狹夫水のゆく所高望がぬとすうて。左右へ下れ。低見がかるらば。  
もちつて。その上へ出ざり。人情へあらず。かたよめ。バ登さんとる。  
低きよ端よ。がさんとせらり。鳥獲のミタカの人。う。奔牛の尾へと  
走し。牛の勢ひを内止せば。その尾をひきぢだつて。心。情慾の  
禁ド。がれ。奔牛と鳥獲の如。相挑むと甚。して天票の性  
博。種この禍と忌。牛の尾を断え。是も。奔牛へ情慾。止。  
鳥獲ハ法度。かかる。畜。聖人へ情と失そと。慾と禁め。よく。礼節。ま  
りの。且水の。うち。止。低きよ。就ハ水の性。聖人。その情と失ひ  
ゆ。人生。善よ進へ。や。愚よ進ひ。や。愛きを。諭ぐ  
み。童子ホガサの管。りて吹く。シャボンとの。手。近。故つふ  
と。う。と。泡の管。と。假。殊。と。う。と。と。と。と。と。圓。と。それ。人

ふ。被れ。本然の善。既。その管。と。う。風。と。風。隨て飛揚。もる。を  
え。且。さみ。の形。と。う。あ。と。ど。始終。真。圓。と。稀。あり。是。よ  
進む。の。稀。る。も。又。か。の。ど。三。情慾の。風。と。誘。引。と。天。票。示。乃  
性。と。失ふ。よ。あ。と。ど。や。その。圓。と。も。方。る。も。ゆ。が。め。ゆ。直。と。ゆ。う。に。ゆ  
ゆ。れ。も。あ。と。が。宿。あ。と。圓。の。よ。み。消。ざ。れ。は。り。と。う。シャボン。と  
月。人。ゆ。と。ば。慈。航。の。纏。と。解。ま。と。煩。惱。の。泥。海。と。漕。う。の。ま。彼  
峯。へ。到。ら。ん。と。実。よ。疑。ひ。と。と。う。ん。狀。

萬物皆有本末。人能順之。則無往而不成。故曰。萬物皆有本末。人能順之。則無往而不成。

